

ADECIA Firmware

主なアップデート内容

V2.0.0

新機能

[ADECIA全体]

- RM-CG、RM-CR、VXL1-16P で構成する ADECIA シーリングソリューションが、「Zoom」の認証を取得しました。
- RM-TT、RM-CR、VXL1-16P で構成する ADECIA テーブルトップソリューションが、「Zoom」の認証を取得しました。

[RM-CR]

- Preset Store/Recall 機能を追加しました。
- ネットワークセキュリティ強化のため IEEE802.1X に対応しました。
- Web GUI に、VXL1-16P の Peripheral Detail 画面を追加しました。
- AES67 に対応しました。

[RM-CG]

- マイク集音の Tracking area に、Focus area の選択と Exclusion area の選択機能を追加しました。
- Ch2 の信号処理に Low Latency Mode を追加しました。
- ネットワークセキュリティ強化のため IEEE802.1X に対応しました。
- Dante 出力信号の内容を選択するための Output Router を追加しました。
- AES67 に対応しました。

[RM-TT]

- Ch2 の信号処理に Low Latency Mode を追加しました。
- ネットワークセキュリティ強化のため IEEE802.1X に対応しました。
- Dante 出力信号の内容を選択するための Output Router を追加しました。

- AES67に対応しました。

[RM-WOM / RM-WDR / RM-WGL / RM-WGS]

- RM-WGL/WGSに加え、RM-WOM/WDRも Low Latency Mode の選択ができるようになりました。

[VXL1-16P]

- AES67に対応しました。

修正した不具合

[RM-WAP-8]

- DECT Sync を有効にして Site survey を実行する際、追加可能なマイクの数に正しく推定できないことがある問題を修正しました。
- Site survey にて、使っているはずの 6 つ目のキャリアが正しく表示されない問題を修正しました。

[RM-WOM / RM-WDR / RM-WGL / RM-WGS]

- マイクの Start mode が Standby にも関わらず、Charger に載せて降ろすと、Indicator が消灯状態になることがある問題を修正しました。

[ADECIA全体]

- 軽微な不具合を修正しました。

改善点

[RM-CR]

- Web GUI から Dante の IP アドレスが設定できるようになりました。
- Web GUI からの Configuration ファイルをインポートする際に、Mac Address だけでなく任意のファイル名を使用できるようになりました。
- AutoMixer に Weight パラメーターを追加しました。
- Web GUI の Processing 画面で Room EQ 後段の Fader を操作できるようになりました。
- 自動音響調整で Analog Speaker の volume 調整をサポートするページを追加しました。
- 自動音響調整で RM-CG、RM-TT の EQ 調整も実施するようになりました。

[RM-CG]

- Web GUI から Dante の IP アドレスが設定できるようになりました。
- Web GUI からの Configuration ファイルをインポートする際に、Mac Address だけでなく任意のファイル名を使用できるようになりました。
- AutoMixer の Ch.1/Ch.2 を個別に設定できるようになりました。
- Dante Output Ch.1/Ch.2 を個別に Mute できるようになりました。合わせて、LED の Mute ステータス表示に連動させるパラメーターを追加しました。

[RM-TT]

- Web GUI から Dante の IP アドレスが設定できるようになりました。
- Web GUI からの Configuration ファイルをインポートする際に、Mac Address だけでなく任意のファイル名を使用できるようになりました。
- Dante Output Ch.1/Ch.2 を個別に Mute できるようになりました。合わせて、LED の Mute ステータス表示に連動させるパラメーターを追加しました。

[RM-WOM / RM-WDR / RM-WGL / RM-WGS]

- バッテリーの残量により充電中は LED をオフにしていたのですが、ユーザビリティ向上のために LED をオンにするように改善しました。

[VXL1-16P]

- リモートコントロールにて、コマンド文字列の最初または最後に不要なスペースが入っていても、コマンドが正しければ受け付けるように修正しました。
- リモートコントロールにて、1～127 の UNIT ID を使用できるようになりました。

V 1.7.0

新機能

[ADECIA全体]

- RM-TT、RM-CR、VXL1-16P で構成する ADECIA テーブルトップソリューションが、「Microsoft Teams」の認証を取得しました。

仕様変更

[RM-CR]

- RoomEQ Fader のパラメータ初期値(0dB)を-8dB に変更しました。

[RM-TT]

- AGC(Auto Gain Control)のパラメータ初期値(Low)を High に変更しました。

改善点

[RM-TT]

- エコーキャンセラーの動作を改善しました。

[RM-CR]

- 軽微な不具合を修正しました。

V1.5.0

新機能

[ADECIA全体]

- RM-CG、RM-CR、VXL1-16P で構成する ADECIA シーリングソリューションが、「Microsoft Teams」の認証を取得しました。

[RM-CR]

- Web GUI「RM-CR Device Manager」で、非通話時のフロントインジケータ（RM-CG）、ステータス LED(RM-TT)の色を変更できるようになりました。
- Web GUI「RM-CR Device Manager」に、グループミュートの Disable 機能を追加しました。

[RM-CG]

- RM-CG と RM-CR を組み合わせて使用する場合に、非通話時の RM-CG のフロントインジケータの色を変更できるようになりました。変更には RM-CR と Web GUI「RM-CR Device Manager」が必要です。

[RM-TT]

- RM-TTとRM-CRを組み合わせて使用する場合に、非通話時のRM-TTのステータスLEDの色を変更できるようになりました。変更にはRM-CRとWeb GUI「RM-CR Device Manager」が必要です。

V1.2.0

新機能

[ADECIA全体]

- ADECIA ワイヤレスソリューションを追加しました。
- グループごとにマイクのミュートが連動するミュートグループ機能を追加しました。
- 遠隔管理用プロトコル SNMP (Simple Network Management Protocol) に対応しました。
*RM-WAP-8 は未対応です。
*VXL1-16P は、RM-CR と組み合わせた環境でのみ使用できます。
- Deployment Server への Provisioning 実行コマンドをリモートコントロールプロトコルに追加しました。詳細は、RM Series (RM-CR/RM-CG/RM-TT/RM-WAP) リモートコントロールプロトコル仕様書 Version 1.2.0 を参照してください。

[RM-CR]

- リモートコントロールプロトコルのコマンドを使って Bluetooth Pair モードを監視、制御できるようになりました。

[RM-TT]

- Web GUI「RM-TT Device Manager」を使用できるようになりました。
- ボタンを押している間だけマイクが有効になる Push-to-talk 機能を追加しました。
- 指向性の設定に合わせて、マイクの LED が点灯する機能を追加しました。3つのカーディオイドタイプと双指向性タイプの場合に使用できます。

[VXL1-16P]

- リモートコントロールプロトコルのコマンドを使って IP アドレスを設定できるようになりました。詳細は、VXL1-16P リモートコントロールプロトコル仕様書 Version 1.2.0 を参照してください(後日ヤマハウェブサイトに掲載予定)。

改善点

[ADECIA全体]

- Web GUI の説明内容を改善しました。

[RM-CR]

- Web GUI「RM-CR Device Manager」の[Update]画面で、各デバイスのバージョンの整合性をチェックできるようになりました。

既知の不具合

[RM-CR]

- SIP の音声コーデック G.729 を 2 回線同時に使用すると、音声にノイズが発生することがあります。2 回線を同時に使用する場合は、G.729 以外の音声コーデックを使用してください。

V1.1.0

新機能

- バウンダリーマイクロフォン RM-TT に対応しました。
- RM-TT の専用 Web GUI「Peripheral Detail / RM-TT」が搭載されました。RM-CR Device Manager の [Peripheral] 画面からアクセスできます。
- RM-CR Device Manager の [Peripheral] 画面で Dante オーディオを自動でルーティングさせるかどうかを選択できるようになりました。RM-CR と他のプロセッサーを併用する場合など、Dante オーディオを手動でルーティングさせたいときは自動ルーティングの機能を無効にしてください。
- RM-CR Device Manager の [Processing] 画面でデジタル信号処理のパラメーターを確認/変更できるようになりました。また、[Configuration] 画面でデジタル信号処理の設定をインポート/エクスポートできるようになりました。
- RM-CR Device Manager の [Transport] 画面で NAT トラバーサルに関する設定を確認/変更できるようになりました。
- RM-CG の Remote Control Protocol にビームの方向を出力するためのコマンドを追加しました。

改善点

- Web GUI の SUBMIT ボタンをクリックしてから設定の変更が反映されるまでの時間が短くなりました。

修正した不具合

- LAN ケーブルを抜いて周辺機器との接続を切断すると Status indicator が赤色に点滅します。接続を切断したあと、RM-CR から周辺機器の情報を削除しても Status indicator が点滅し続ける、という不具合を修正しました。
- RM-TT について、特定の条件下において収音がされにくくなったり、ボタン操作に対する反応が鈍くなったりすることがある、という不具合を修正しました。
- Web GUI の SUBMIT ボタンをクリックできないことがある、という不具合を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

V1.0.2

新機能

Web GUI の [MICROPHONE SETTINGS] にて RM-CG のトラッキングの有効範囲を調整する際、[Tracking area] の図内に表示される十字線の末端部分 (橙色のドット×4 つ) を直接ドラッグ&ドロップできるようになりました。

改善点

自動音響調整の基準を見直しました。

修正した不具合

RM-CR 背面のネットワーク端子が 2 つとも使用されない状態では Web GUI「Peripheral Detail / RM-CG」が正常に動作しない、という既知の不具合を修正しました。

V1.0.0

ADECIA ソリューション対応の VXL1-16P ファームウェア (V1.1.0) が入っています。